

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- 「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- 「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- 各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたりベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

メディア・ジャーナリズムプログラム

履修のしかた

メディア・ジャーナリズムプログラムは、メディア業界をめざす人はもちろん、メディアリテラシーを高めたいと考える人など、メディアに関心を持つ学生を歓迎します。「導入・基礎」から「応用・発展」へと段階的に履修してもらうことをお勧めします。

*導入・基礎

まず、本プログラムをメジャーとする学生にとっては必修科目である「ジャーナリズム史」「ジャーナリスト入門」「メディア法」「メディア概論」を早めに履修しましょう。「テレビ・放送の世界」「新聞の世界」「出版の世界」「広告の世界」の4科目からなる「世界シリーズ」は、メディア・ジャーナリズムを身近に感じられるのでお勧めです。

*応用・発展

「読む/見るシリーズ」と「ジャーナリズムシリーズ」にぜひ挑戦してください。実践的にジャーナリズムに触れ、その実情を理解する科目です。「読む/見る」は「新聞社説」「地方紙」「英字紙」「広告コピー」「ドキュメンタリー」、また、「ジャーナリズム」には「出版」「スポーツ」「ネット」「日本」「アメリカ」「アジア」という多彩な科目が用意されています。メディアと倫理(人権)、環境、ジェンダー、子供との関係を考える科目、さらに、「雑誌をつくる」など実践的な科目もあります。

*「マスコミ特訓講座」と「メディア特講」にはそれぞれ複数の科目があり、重複履修可

「マスコミ特訓講座」は新聞、出版、映像、ネット、「メディア特講」はマンガ・アニメ、若者とメディアリテラシー、戦争(戦場)ジャーナリズム、調査・災害・事件報道に分かれています。それぞれ、重複して履修することができます。

他のプログラムとの関係

メディアは「媒体」のことであり、ジャーナリズムは「言論の手法や目的」のことで、実際に伝えられる中身やコンテンツは政治、経済、社会、科学、文化、国際問題などさまざまです。世の中の動きをより深く理解するためには歴史や哲学、思想など知識も必要でしょう。本プログラムの学生はメディア・ジャーナリズム関連科目ばかりでなく、いろいろなことに関心を持ち、幅広い科目を履修することを望みます。

留学・教職その他

視野を広げるためにも、留学にチャレンジしてくれることを歓迎します(必要な科目は早めに履修するようにしてください)。

学生へのメッセージ

新聞やテレビなど既存メディアに対する厳しい批判があります。確かに、報道被害などを犯した歴史から、メディアが反省を迫られるものも少なくありません。他方で、好むと好まざるとに関わらず、世の中の出来事を伝えるというメディアの役割が変わることはないでしょう。では、メディアやジャーナリズムは、どうあるべきなのか。情報の受け手である私たちはどうメディアに向き合うべきなのか。これを考えようというのが本プログラムです。メディアの特徴や傾向を知った上で適切に情報を選択し、活用することができる、洗練された社会人になってほしいと考えています。

メディア・ジャーナリズム関係の科目がこれほど多彩な大学は全国的に見ても多くありません。プログラムの担当教員のほとんどはメディア業界で働いた経歴の持ち主です。この機会をうまく使ってほしいと願っています。

メディア・ジャーナリズムプログラム

1 活字メディアを中心とした履修モデル

本履修モデルは、新聞や出版といった「活字メディア」についての歴史や展望、理論や哲学などを講義形式の授業で学ぶだけではなく、実際に読んで書き調べたり、「ジャーナリスト」としての素養を身につけることを目的としています。

必修の「ジャーナリズム史」「ジャーナリスト入門」「メディア法」「メディア概論」のほか、「世界シリーズ」では「新聞」と「出版」、「ジャーナリズムシリーズ」は「日本」「出版」など、「読む」シリーズは「新聞社説」「地方紙」などを中心に時間割を作ったらどうでしょうか。マスコミ特訓講座のうち、「新聞」と「出版」はぜひものです。就職活動の助けになります。

メディア・ジャーナリズムプログラム科目

Level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
理論・歴史	◎	ジャーナリズム史	2		政治学概論	2						
	◎	ジャーナリスト入門	2		日本経済論	2						
	◎	メディア法	2		国際経済学	2						
	◎	メディア概論	2		文化社会学A	2						
		日本史概論B	2									
		科学・技術・社会A	2									
		科学・技術・社会B	2									
基礎		テレビ・放送の世界	2									
	○	新聞の世界	2									
	○	出版の世界	2									
		広告の世界	2									
応用・その他				○	新聞社説を読む	2	○	メディアと倫理	2			
				○	地方紙を読む	2		環境とメディア	2			
				○	英字紙を読む	2		メディアとジェンダー	2			
					広告コピーを読む	2		子供とメディア	2			
					ドキュメンタリーを見る	2	○	雑誌をつくる(編集理論)	2			
				○	出版ジャーナリズム	2	○	雑誌をつくる(編集実務)	2			
				○	スポーツジャーナリズム	2	○	マスコミ特訓講座	2			
				○	日本のジャーナリズム	2						
				○	アメリカのジャーナリズム	2						
				○	アジアのジャーナリズム	2						
				○	ネットジャーナリズム	2						
				○	メディア特講	2						
					社会調査法A(質的調査)	2						
					社会調査法B(量的調査)	2						

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

メディア・ジャーナリズムプログラム

2 映像メディアを中心とした履修モデル

本履修モデルは、テレビや広告といった「映像メディア」の歴史や動向、社会的な影響力や役割を講義形式の授業で学ぶだけではなく、読んだり書いたり創ったり、テレビ業界、広告業界をめざす学生に、必要な素養を身につけることを目的にしています。

必修の「ジャーナリズム史」「ジャーナリスト入門」「メディア法」「メディア概論」は導入編です。このプログラムを履修するにあたっての基礎的な知識を身につけます。

次に「テレビ・放送の世界」「広告の世界」「広告コピーを読む」「ドキュメンタリーを見る」などの授業で専門性を身に付けてください。「マスコミ特訓講座」も就活に役立ちます。

メディア・ジャーナリズムプログラム科目

Level	100			200			300			400		
カテゴリー	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
理論・歴史	◎	ジャーナリズム史	2		政治学概論	2						
	◎	ジャーナリスト入門	2		日本経済論	2						
	◎	メディア法	2		国際経済学	2						
	◎	メディア概論	2		文化社会学A	2						
		日本史概論B	2									
		科学・技術・社会A	2									
		科学・技術・社会B	2									
基礎	○	テレビ・放送の世界	2									
		新聞の世界	2									
		出版の世界	2									
	○	広告の世界	2									
応用・その他					新聞社説を読む	2	○	メディアと倫理	2			
					地方紙を読む	2		環境とメディア	2			
					英字紙を読む	2		メディアとジェンダー	2			
				○	広告コピーを読む	2		子供とメディア	2			
				○	ドキュメンタリーを見る	2		雑誌をつくる(編集理論)	2			
					出版ジャーナリズム	2		雑誌をつくる(編集実務)	2			
					スポーツジャーナリズム	2	○	マスコミ特訓講座	2			
				○	日本のジャーナリズム	2						
				○	アメリカのジャーナリズム	2						
				○	アジアのジャーナリズム	2						
				○	ネットジャーナリズム	2						
				○	メディア特講	2						
					社会調査法A(質的調査)	2						
					社会調査法B(量的調査)	2						

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

メディア・ジャーナリズムプログラム

3 ネットメディアを中心とした履修モデル

本履修モデルは、「インターネットメディア」の歴史や動向、社会的な影響力や役割を講義形式の授業で学ぶだけではなく、読んだり書いたり創ったり、ネットジャーナリストやウェブ編集者としての素養を身につけることを狙っています。

必修の「ジャーナリズム史」「ジャーナリス入門」「メディア法」「メディア概論」は導入編です。まずはこのプログラムを履修するにあたっての基礎的な知識を身につけます。

次に「ネットジャーナリズム」、「マスコミ特訓講座(インターネット)」などで専門的にネットジャーナリズムを学んでください。同時に、「世界シリーズ」「ジャーナリズムシリーズ」などで他のメディア業界や世界各地のジャーナリズムに目配りすると、バランスの取れた知識を確立できます。

メディア・ジャーナリズムプログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリー	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
理論・歴史	◎	ジャーナリズム史	2		政治学概論	2						
	◎	ジャーナリス入門	2		日本経済論	2						
	◎	メディア法	2		国際経済学	2						
	◎	メディア概論	2		文化社会学A	2						
		日本史概論B	2									
		科学・技術・社会A	2									
		科学・技術・社会B	2									
基礎		テレビ・放送の世界	2									
	○	新聞の世界	2									
	○	出版の世界	2									
		広告の世界	2									
応用・その他				○	新聞社説を読む	2	○	メディアと倫理	2			
				○	地方紙を読む	2		環境とメディア	2			
				○	英字紙を読む	2		メディアとジェンダー	2			
				○	広告コピーを読む	2		子供とメディア	2			
					ドキュメンタリーを見る	2		雑誌をつくる(編集理論)	2			
				○	出版ジャーナリズム	2		雑誌をつくる(編集実務)	2			
					スポーツジャーナリズム	2	○	マスコミ特訓講座	2			
				○	日本のジャーナリズム	2						
					アメリカのジャーナリズム	2						
					アジアのジャーナリズム	2						
				○	ネットジャーナリズム	2						
				○	メディア特講	2						
					社会調査法A(質的調査)	2						
					社会調査法B(量的調査)	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数